

第1回新見駅周辺まちづくり検討委員会

新見駅周辺まちづくりに関する現況報告

2020.8.21 新見市

新見駅周辺の現状

今までは、



しかし、

山陽と山陰を結ぶ交通の要衝である新見駅を中心に、住宅や商店が集積し、本市の中心市街地として発展

近年、新見駅利用者の減少や商業構造の変化などが影響し、**地域の活力低下が見られる**状況

空店舗や空き家の増加

- 商業地域の拡大
- インターネットショッピングの普及
- 後継者の不足

居住人口の減少

- 若年者の市外流出
- 少子化の進行

駅周辺の活力低下

新見駅周辺のまちづくり

平成元年度～12年度
土地区画整理事業の実施

- ・駅前広場整備
- ・駅東側のまちなみ整備

新見市都市計画マスタープラン（R2.9月議会上程）

地域の目指すべき将来像



市の玄関口として、にぎわい・交流の創出及び子育てを支える都市環境づくり

新見駅周辺のまちづくり

課題として考えられること

- ① J R 新見駅舎の整備（駅舎改修・バリアフリー化）
→利用者の利便性向上
- ② 駅南側と北側の結節強化
→美術館との連携、駅南側用地の活用
- ③ 新見駅を中心とした交通網及び公共交通の整備
→新見日南線の整備、周回道路の整備
- ④ 新見駅前～高梁川～昭和町地域の町並み整備
- ⑤ 地域が活性化していくための仕組み（ソフト事業）づくり
→空き店舗の解消、活性化イベントの開催

課題を解決し、地域を活性化していくためには、
美術館～駅南～駅～駅前～高梁川～高梁川対岸
を含めたまちづくりを考えることが必要

新見駅周辺のまちづくり



※駅周辺エリアの範囲は、イメージとして表示しています。

新見駅周辺まちづくり事業

- ① J R 新見駅舎の整備（駅舎改修・バリアフリー化）
- ② 駅南側と北側の結節事業
- ③ 新見駅を中心とした交通網及び公共交通の整備事業
- ④ 新見駅前～高梁川～昭和町地域の町並み整備事業
- ⑤ 地域が活性化していくための仕組み（ソフト事業）づくり事業
- ⑥ 新見駅西エリア整備事業

・
・

- ・ 新見駅西エリア整備事業は、新見駅周辺のまちづくり事業の1つ。事業の目的から先行的に実施
- ・ 全体的なまちづくりとの整合性に配慮しながら実施する必要がある。

施設の配置計画などに影響

新見駅西エリア整備事業とは

大学を活かしたまちづくり

～まちづくりに大学がある利点を活かす～



新見公立大学が4年制に移行

大学の4大化に伴って、令和4（2022）年には学生数は735名になり、**現在より280名増加**

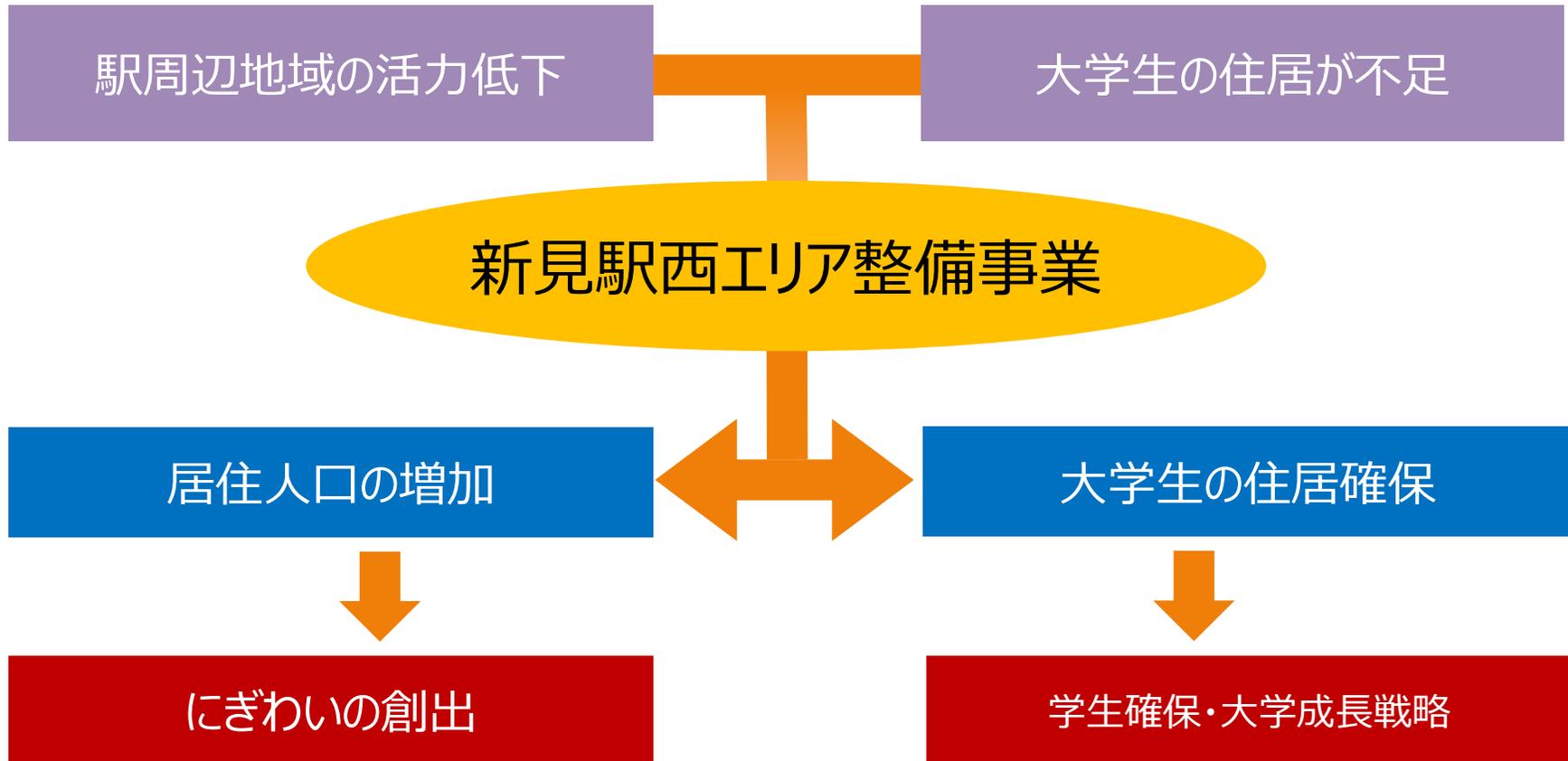
	総定員数	定員増減	アパート居住者 (推計)
2018年度	455名		407名
2019年度	475名	+20名	418名
2020年度	495名	+20名	426名
2021年度	615名	+120名	523名
2022年度	735名	+120名	610名



大学生の住居不足の可能性

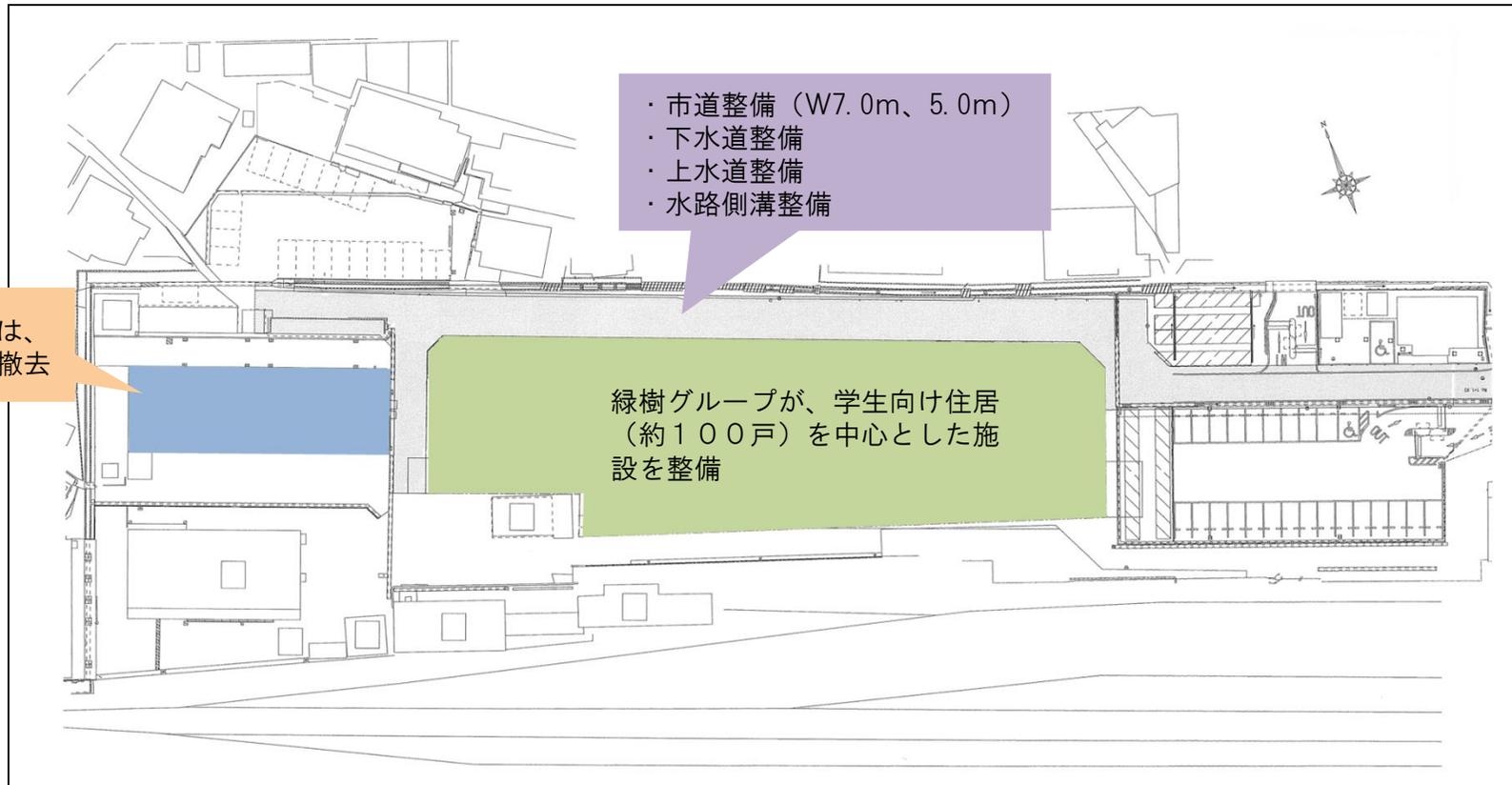
新見駅西エリア整備事業

目的 = 課題を複合的に解決し、地域の活性化につなげる！



民間事業者と新見市で整備

学生向けの住居を中心とした施設を、民間事業者が整備
新見市は、道路・上水道・下水道などのインフラを整備



緑樹グループが施設を整備

地上5階建、2～5階住居施設（100戸程度）

1階部分は、公共的な利用ができるエリアとして整備する計画



今後の整備事業の予定

工事区分	事業概要	整備主体	工期（完了予定）
①下水道付替え工事	新たに整備する市道内に下水道を敷設	新見市	令和2年9月下旬
②上水道整備工事	新たに整備する市道内に上水道を敷設		令和2年9月下旬
③側溝整備工事	既存の水路を改修・整備		令和2年9月～12月
④建物解体工事	旧JR西日本家族寮の解体撤去		令和2年8月中旬～11月
⑤都市拠点施設整備工事	学生向け住居（100戸程度）を中心とした施設整備	緑樹グループ	令和2年10月下旬～ 令和3年12月
⑥市道整備工事（路面整備）	市道整備（市道駅前広場西線）	新見市	令和4年度中



第1回新見駅周辺まちづくり検討委員会 委員会の進め方

令和2年8月21日（金）

新見市

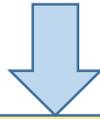


(6月議会議決)

①第3次新見市総合計画

※市政を総合的かつ計画的に運営していくための指針。市政運営の最も基本となる計画。

○7つの地域拠点エリアと新見駅を中心とする市街地エリアでそれぞれの特性に応じたまちづくりを進める一方でエリア相互をつなぐネットワークの充実を図る。



即す

岡山県（平成29年3月）

②新見都市計画区域マスタープラン

(都市計画区域の整備・開発及び保全の方針)

※県土形成の観点から、県の都市づくり方向性を示し、各種マスタープラン等の策定における共通ベース



即す

(9月議会提出予定)

③新見市〔改定〕都市計画マスタープラン

目標年次：令和22年度（2040年度）

※市の都市計画の基本方針、市の都市基盤・都市環境に関する各種計画の上位計画

承認・同意

都市計画審議会

※都市計画法に基づき条例で設置

意見聴取

(令和3年度策定予定)

④新見市立地適正化計画

※都市計画マスタープランの一部・高度化版

策定

立地適正化計画策定協議会

※本年度設置予定

反映

新見駅周辺まちづくり基本方針

策定

新見駅周辺まちづくり検討委員会

ワーキンググループで協議検討

- ・ワークショップ開催
- ・アンケート調査実施

市民の意見聴取・反映



新見駅周辺まちづくり検討委員会

関係団体（商工）	新見商工会議所	会頭	
（商工）	阿哲商工会	会長	
（観光）	新見市観光協会	会長	
（大学）	新見公立大学	学長	
（福祉）	新見市社会福祉協議会	常務理事	
交通会議	新見市公共交通会議	会長	
市民代表（地元）	新見駅前連合町内会	会長	
（都計）	新見市都市計画審議会	委員	
			合計 8名

※各機関の長の参加を想定

新見駅周辺まちづくりワーキンググループ(案)

	3名（事務局長、青年部、女性会 等）
	3名（事務局長、青年部、女性部 等）
	1名
	1名
	1名
	1名
	3名（副会長、婦人会、若連中 等）
（議会）	1名 新見市議会
（金融）	1名 金融協会
（地域）	1名 地域づくり団体
	合計 16名

※女性の意見を反映させるため、女性比率を3割を目指す
 ※オブザーバーとして中国地方整備局、岡山県、新見警察署、JR西日本も参加依頼

市民の意見聴取・反映

【ワークショップ】

市民・行政による協働のまちづくりを実現するため、新見市の玄関口としての新見駅のあり方、周辺のまちづくりについて話し合い、その意見を構想へ反映するためにワークショップを開催。

参加メンバーは以下を想定

- 地元関係・・・公募市民、町内会、駅前商店街
- 学校関係・・・新見公立大学生、新見市内高校生
- 関係団体・・・福祉団体
- 地域組織・・・新見みらいづくり会議、ふるさと塾等

*行政関係として新見市役所関係課（総合政策課、商工観光課、生活環境課、福祉課等）も参加。

【アンケート調査】

ワークショップに参加いただけていない市民の意見聴取、反映するためにアンケート調査を実施。

- 新見駅周辺利用者への街頭アンケート調査の実施。
- HPでのwebアンケート調査の実施等。



新見駅周辺まちづくり基本構想策定スケジュール（案）

R2.8月

第1回検討委員会

- 検討委員会の設立
- まちづくりに関する現況報告
- 委員会の進め方

ワーキング

ワークショップ開催

- ※検討テーマ案
 - ・新見駅周辺の現状とまちづくりの共通目標
 - ・新見駅周辺の魅力と課題の確認
 - ・新見駅周辺のまちづくりの方向性確認

アンケート調査実施

ワークショップに参加いただけていない市民意見を新見駅周辺まちづくり基本方針に反映させるため、ワークショップで出た意見を公表するとともに「新見駅周辺まちづくりアンケート」を実施し、結果をワークショップ、ワーキング、検討委員会へ報告し意見を反映。

ワーキング

R3.3月頃

第2回検討委員会

- 中間とりまとめ
- 基本方針策定に向けての方向性確認

ワークショップ開催

- ※検討テーマ案
 - ・新見駅周辺の土地利用、施設整備、取り組み事業検討
 - ・新見駅周辺まちづくり基本方針案検討

ワーキング

R3.10月頃

第3回検討委員会

- 新見駅周辺まちづくり基本方針案の策定（新見市立地適正化計画への反映）
- 基本構想策定に向けての方向性確認

R4.3月頃

新見市立地適正化計画策定

新見駅周辺まちづくり基本構想策定